

Port of Hachinohe

No. 29
NOV 2009

---Maritime & Trade Report---

●今号の主な記事

- 東南アジア航路改編～世界の主要港へ直接寄港開始！～
- 八戸港で「小口混載貨物」取り扱い開始！
- 八戸港と京浜三港（東京港、川崎港、横浜港）との連携強化
- 新たな八戸港の計画が答申される
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 八戸港の物流を支える人々

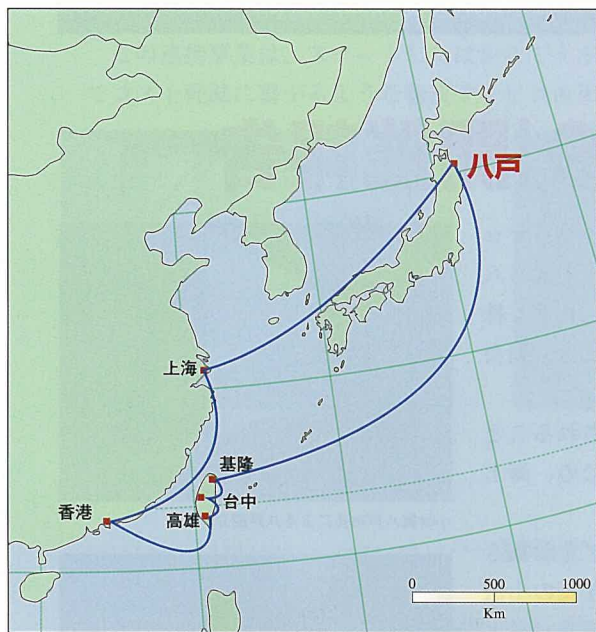
東南アジア航路改編 ～世界の主要港へ直接寄港開始！

八戸港の東南アジア航路を運航するPIL (Pacific International Lines) 社は、10月から航路を一部変更し、上海（中国）、香港（中国）への直接寄港を開始しました。

従来は、台湾（高雄、基隆、台中）までの寄港でしたが、上海、香港へも寄港することにより、両港向け貨物の積み替えが不要になり、荷主の皆様の利便性向上につながるものと思われます。

上海港および香港港は、世界の港湾別コンテナ取扱個数ランキング（2008年）において、それぞれ第2位、第3位を占める世界的に主要な港であり、今回の航路改編で八戸港の貨物取扱量の更なる増加が期待されます。

皆様、ぜひご利用ください。



八戸港に入港するPIL社の船

東南アジア航路 寄港地

土曜日便	香港～上海～新潟～苫小牧～八戸 ～仙台～基隆～台中～高雄
------	---------------------------------

お問い合わせ先

PIL 代理店 八戸通運株式会社海運営業所
〒039-1161 八戸市河原木字海岸 36-11
TEL : 0178-29-0202 FAX : 0178-20-3281

八戸港で『小口混載貨物』取り扱い開始!

9月から、八戸港で、小口混載貨物の取り扱いが開始されました。概要は以下のとおりです。

- ◇中国及び韓国からの輸入貨物が対象（南星海運株のコンテナ船を利用）
- ◇ドライコンテナ使用（20フィートもしくは40フィート）
- ◇仕出地（港）及び所要日数の目安

「中国」……大連港（12日）、天津新港（12日）、青島港（12日）、上海港（11日）、香港・深圳港（11日）

「韓国」……釜山港（4日）

※コンテナ船の運航状況により所要日数が変わる場合があります。また、危険物や規制品をはじめお取り扱いできない貨物がありますので、事前に下記までお問い合わせください。

八戸港で小口貨物の輸入を行う荷主様に対し、八戸港国際物流拠点化推進協議会（会長：小林眞八戸市長）から、経費の一部を助成いたします。

「八戸港小口混載貨物輸送補助金」

→1m³もしくは1tあたり3千円を助成

ご利用の際は、事前に右記までお問い合わせください。

この補助金制度の新設を機に、たくさんの方々に八戸港を利用していただき、八戸港の利便性を実感していただきたいと思います。是非、本制度をご活用ください。

《小口混載貨物のお申込み・料金等のお問合せ先》

三統株式会社国際部
TEL：06-6205-0114

八戸港湾運送株式会社 コンテナ営業課
TEL：0178-29-3177

《小口関係の補助金についてのお問合せ先》

八戸市産業振興部産業政策課内
八戸港国際物流拠点化推進協議会事務局
TEL：0178-43-9244（直通）

「八戸セミナー2009」開催報告

去る7月22日（水）および23日（木）の両日、それぞれ名古屋市・ホテルマリオットアソシア、東京・ホテルルポール麹町において「八戸セミナー2009」（主催：八戸市・八戸港国際物流拠点化推進協議会・八戸市企業誘致促進協議会、共催：株式会社八戸港貿易センター（東京のみ））が開催されました。セミナーには、船会社をはじめ荷主や関係者の皆様、のべ400人の皆様にご出席いただきました。

セミナーでは、八戸市や八戸港の紹介を行い、特に本年9月から実施されることとなった小口混載貨物事業に対する支援等、各種支援制度の説明をはじめ、海上輸送ネットワーク等について紹介いたしました。

このほか、各会場では八戸市内に事業所を開設している企業のトップをお招きし、基調講演を実施、名古屋会場ではエナックス株式会社代表取締役社長の小沢和典氏が、「リチウムイオン電池技術と今後の展望～電池が拓く世界の未来～」と題してご講演、多摩川精機株式会社代表取締役社長の萩本範文氏が「当社の八戸地域における取り組みと今後の展望」と題してご講演されました。また、東京会場ではマネックスグループ証券株式会社代表取締役社長CEOの松本大氏が、「オンライン証券の未来と八戸」と題してご講演されました。

セミナー終了後の情報交換会では、恒例となった来賓紹介があり、八戸港から各港への定期コンテナ航路やフェリー航路を運航している船会社の皆様を紹介されました。

当セミナーは平成16年度から、八戸市への企業立地や八戸港の取り扱い貨物の増大を働きかけることで地域全体の活性化を図ることを目的に開催しております。

昨年秋の世界同時不況以来、全体的にコンテナ取扱量が減少しており、大変厳しい状況が続いております。このような時期ではありますが、八戸港では小口混載貨物の取り扱いを開始するなど、今後も関係者の皆様と連携を図りながら利便性の向上に努めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひします。

（八戸セミナー2009 事務局：八戸市産業振興部産業政策課）



小林眞八戸市長による八戸紹介



セミナーの様子（名古屋会場）



情報交換会の様子（東京会場）

八戸港と京浜三港(東京港、川崎港、横浜港)との連携強化

八戸港と京浜三港との連携を図り、物流サービス水準の向上に向けて取り組んでまいります。

1. 目的

この取り組みは、八戸港と京浜三港（東京港、川崎港、横浜港）が連携し、輸送の効率化、利便性の向上等、物流サービス水準の向上に努め、地域産業の活性化と内貿振興に資することを目的としております。

2. 八戸港と京浜三港との相互協力体制の構築に向けて

①両港の間を就航する内貿船を対象としての港湾コストの軽減

②企業誘致等に関する内貿振興

などを基本とした相互協力体制を構築するために、連携しながら取り組んでまいります。

（「内貿振興に向けた八戸港と京浜三港（東京港、川崎港、横浜港）の連携に関する協定書（平成21年6月29日付け締結）」より抜粋）

3. 取り組みの手始め

(1) 入港料の全額免除の実施【平成21年7月13日覚書締結】

京浜三港の各港と八戸港を寄港地とする内航フィーダーコンテナ航路について、入港する船舶の入港料を京浜三港、八戸港それぞれ全額免除致します。

〈期 間〉平成21年8月1日～平成24年3月31日

(2) 「京浜三港・八戸港 港湾振興共同セミナー（仮称）」の開催（開催日未定）

港湾振興及び企業誘致に関する講演、PR活動を行います。

4. 今後の取り組み

この連携事業は、スタートしたばかりですが、これから、八戸港と京浜三港間で、協議・連携し、荷主の方々にとってコスト軽減に繋がるような物流サービス水準の実現に向けて、事業展開を検討してまいります。



内航フィーダーコンテナ船の活用



H21.5.15 東京みなと祭参加 ～様々な場での発信～

お問い合わせ先
青森県県土整備部港湾空港課
http://www.pref.aomori.lg.jp/kotsu/build/kowan_top.html
TEL: 017-734-9676
FAX: 017-734-8194

.....Welcome to Hachinohe.....

南星海運株式会社来八

7月8日、八戸港の中国・韓国航路に定期コンテナ船を就航している南星海運株式会社（本社：韓国・ソウル市）の徐明千社長、金庸圭理事、同社日本総代理店の南星海運ジャパン株式会社の好田保孝社長が来八しました。

1998年に八戸港に開設された中国・韓国航路は、順調に取扱貨物量を伸ばしており、2008年には、19,854TEU（20ftコンテナ換算）と過去最高を記録する等、10年にわたり八戸港の貿易を支えています。

現在は、週2便（月・水曜日）のサービスを行っており、上海、寧波、大連、青島との直行便サービスに加え、釜山経由による香港、天津新港などへの自社フィーダー航路の他、北米との貨物輸送にも対応しています。

今回、徐明千社長は、日本語で両地域の交流の継続・発展への期待を述べるとともに、「今後も更に連携を密にし、コンテナ定期航路の利用拡大への様々な提案をしてほしい。」など、力強いコメントをいただきました。

今後、両地域の交流が一層活発になり、八戸港の利用拡大に繋がることが期待されます。



左から3人目が徐社長

潜水調査船「しんかい6500」八戸港で一般公開

8月22日、23日の二日間にわたり、有人潜水調査船としては世界一深い6,500mまで潜水できる「しんかい6500」が、支援母船「よこすか」と共に八戸港で一般公開されました。今回の寄港は、八戸市制施行80周年と八戸港開港70周年の記念事業の一環として、独立行政法人海洋研究開発機構の協力により実現したものです。

「しんかい6500」は、パイロット2名、研究者1名が搭乗し、巨大地震を発生させる6,200m～6,500mの地質構造を調べられるよう、様々な最新技術が取り入れられています。6,500mという深海では1cmあたり約680kgの水圧がかかります。これは人の指先に軽自動車1台が乗るくらいの圧力で、これに耐えられるよう人が乗る耐压殻はチタン合金を使い、強度を高めています。水中では、電波が使えないので、音波を使って周りの地形を確認したり、海上の「よこすか」と連絡を取ります。また、観測用のCCDカラーTVカメラの画像をデジタル処理し、カラー画像を送ることも成功しました。深海で作業に使う「腕」であるマニピュレータは、操作者に力が伝わる最新式で、卵やワイングラス

も割らずに持つことができるほど繊細な動きが可能です。こうした技術により、1991年に世界で初めて三陸沖日本海溝で太平洋プレート表面の裂け目を発見、1997年には水深6,374mで多毛類生物を発見しています。

一般公開の二日間は好天に恵まれたこともあり、多くの人が訪れ、「よこすか」のブリッジで計器類の説明を受けたり、格納庫の「しんかい6500」を間近で見学しながら、深海の世界に思いをはせていました。

「しんかい6500」は今年で完成から20年になりますが、2007年には通算1,000回の潜航を達成し、800人以上の研究者を深海へ案内しました。今年もインド洋での調査などが予定され、ますますその活躍が期待されています。

資料提供

独立行政法人海洋研究開発機構
HP アドレス：<http://www.jamstec.go.jp>



ブリッジの見学者



支援母船「よこすか」(海洋研究開発機構より画像提供)



潜水調査船「しんかい6500」
(海洋研究開発機構より画像提供)



(株)八戸港貿易センターは、世界に開かれたみなと八戸港と私達と深く係わる貿易をもっとよく知っていただくために様々な活動を行っております。ここでは貿易に関する基本的なQ&Aをご紹介します。

Q

フィーダー航路って何ですか？

A

フィーダーとは川の支流という意味を持ち、大型の本船が直接寄港する主要港から、別便で枝分かれして地方港へ輸送する航路をフィーダー航路と呼びます。

主要な幹線航路のコンテナ船は大型化が進んでおり、全ての港に寄港することは、港湾整備の面からいって不可能です。また、貨物量が多くない港に寄港することは、運航効率の点やスケジュールの安定化の面からも問題があります。しかし、少ないながらも地方港でのコンテナ貨物の需要は確実に伸びており、こういった地域をネットワークで結ぶ必要性から、フィーダー航路が発達してきました。

フィーダー航路の基点となる主要港をハブ(Hub：車輪の中心の意味)港と呼び、ここで各港から集まったコンテナ貨物は目的港毎に積み替えられます。この積み替えのことをトランシップといいます。国際的なハブ港として有名なシンガポールは、年間取扱コンテナが2,000万TEU以上で世界第一位ですが、その80%はトランシップ貨物になっています。

タイを販売拠点に県産品を東南アジアへ！

青森県では、東南アジアへの県産農水産物の輸出を促進させるため、タイをその販売拠点に位置づけ、周辺国も対象とした販路開拓を図ることとし、8月下旬から9月上旬にかけて、バンコクにおいて企業訪問による個別商談や見本市への出展による商品提案を実施しました。

今回は、県内の食品関係業者3社が参加し、りんご、ながいも、黒にんにく、ポイルはたて、りんごジュース、りんご酢など11品目について商品提案したところ、現地の卸売業者、加工業者、レストラン、ホテルなどのバイヤーから本県産品に対する高い評価をいただきました。

商談は、11か国、85企業と行い、このうち、りんごについては、タイの卸売業者と成約する見込みとなっているほか、特にポイルはたてについては、ホテルやレストランから速やかな取引開始の要望が寄せられました。

また、タイ周辺国の卸売業者等からも提案商品に対する引き合いがあることから、今後とも、商談成立に向けた現地業者との連絡を継続し、東南アジア諸国への輸出拡大に努めていくことにしています。



現地スーパーマーケットとの商談



見本市の青森県ブース



ポイルはたての試食

お問い合わせ先

青森県農林水産部総合販売戦略課
海外販路開拓グループ
TEL:017-734-9574 FAX:017-734-8158

新たな八戸港の計画が答申される

去る9月29日に「青森県地方港湾審議会」が青森市において開催されました。八戸港の新たな港湾計画について審議が行われ、計画案どおりに認めると答申されました。

これまでの計画は、平成11年に改訂されていますが、それから10年が経過し経済社会情勢の変化に伴って様々な要請や課題等が現れていました。これらに対応するため、県が平成19年度から貨物の動向調査や環境調査等の作業を進めてきました。

新たな計画では、八戸港の将来像を「世界に開かれた北東北のゲートウェイ港湾」としており、北東北経済の持続的な発展へ貢献することを目指しています。目標年次は、平成30年代後半となっており、物流や産業、交流等の各分野において、様々な要請や課題に対応しています。

主な内容としては、コンテナ貨物の大幅な増大を見据えて、八太郎地区からポートアイランド3期地区へコンテナターミナルを移転すること。ポートアイランド2期地区に大規模エネルギー基地、造船関連産業の誘致を目指すこと。さらには、

沼館地区へ親水空間を形成することや、ポートアイランド1期地区を改良してRORO船の集約と、大型クルーズ客船へ対応すること等が計画されています。

この計画は、11月末に国が開催する「交通政策審議会 港湾分科会」の審議を経て正式に決定されますが、市では、この計画が早期に実現するよう、国・県とともに積極的に港湾施設の整備促進や、ポートセールス活動に取り組んで参ります。

※港湾計画とは、概ね10年後を見据えた港湾貨物の取扱能力、港湾施設の規模と配置、港湾環境の整備と保全等について定める計画。港湾法により、重要港湾での策定が義務付けられている。

お問い合わせ先

八戸市建設部港湾河川課
TEL：0178-43-9386

「マレーシアセミナー in 八戸」開催

去る7月31日（金）に、八戸市内において、八戸港とマレーシアとの経済交流の活性化を図ることを目的として「マレーシアセミナー in 八戸」（主催：マレーシア貿易開発公社、後援：八戸市、八戸港国際物流拠点化推進協議会）が開催されました。

マレーシアは、2008年には、八戸港からのコンテナ輸出国の中で、中国、台湾、オランダに続いて第4位となっており、八戸港にとって重要な貿易相手国です。今回のセミナーには青果物取り扱い企業や水産加工物取り扱い企業を中心に、八戸市内及び周辺地域の企業の方など、約20名が出席しました。

冒頭で、奈良岡修一八戸市副市長から、「本日のセミナーが、皆様のビジネスのお役に立ち、またマレーシアをはじめASEAN地域との輸出入拡大に繋がることを期待しております。その際には、是非、八戸港をご利用いただきますよう、お願い致します。」との挨拶がありました。

続いて、マレーシア貿易開発公社ユスリナワティ所長より、「マレーシアの概要」についてご説明頂きました。マレーシアからの主要輸出先は、1位：シンガポール、2位：アメリカ、3位：日本、主要輸出品目は電気・電子製品、鉱物燃料、機械となっており、主要輸入相手国は、1位：中国、2位：日本、3位：シンガポール、主要輸入品目は電

気・電子製品、機械、自動車となっているとのことでした。また、マレーシア貿易開発公社（MATRADE）に関しては、1993年3月にマレーシア国際通商産業省（MITI）傘下の公的機関として設立され、マレーシアの貿易促進機関としての役割を担っているとの説明がありました。

更に、マレーシア貿易開発公社（MATRADE）の主催で、2009年11月10日～12日、クアラルンプール市内で開催される国際貿易展示会「INTRADE MALAYSIA 2009」についても案内がありました。これには、600人以上の海外バイヤーが参加するバイヤーミッションも開催されるというものでした。

ユスリナワティ所長による説明終了後の質疑において、マレーシア人の嗜好に関する質問があり、マレーシア貿易開発公社東京事務所の安江所長補佐からは、「マレーシアでは辛いか甘いかどちらかの味が好まれる傾向がある」との説明がありました。

セミナー開始前には、マレーシアのお菓子と紅茶が振る舞われ、出席者はマレーシアをより身近に感じ取ることができたようでした。

今回のマレーシアセミナーを通じて、今後、八戸港を利用したマレーシアとの取引が拡大することを期待しております。



ユスリナワティ所長による説明



安江氏による質疑応答



会場の様子

.....Welcome to Hachinohe.....

三統株式会社来八

9月24日、三統株式会社の吉田進三副社長および、同社国際部課長の成岡信明氏が来八しました。

同社は、中国から日本への輸入貨物の取り扱いを主要な業務としており、今年9月から、八戸港において小口混載貨物サービスを開始しております。

今回、吉田副社長は、小林市長に対し、八戸港における貨物掘り起こしへの意欲を述べるとともに、将来のサービス展開についての展望などについてお話されました。

小口混載貨物の取り扱いが開始され、八戸港を利用する荷主の皆様のご利便性が向上したことにより、今後更なる集荷が進むものと期待しております。



小林眞八戸市長表敬訪問の様子

八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、平成21年11月現在（天津、シンガポール、マニラ、タコマ）の4名に「八戸市海外経済協力員」を委嘱し、現地の出来事や経済状況をレポートしていただいております。また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をしていただけますので、ご希望の方は八戸市産業振興部産業政策課（TEL0178-43-9244）までご連絡ください。（なお、海外経済協力員の日程等の都合により、対応できない場合もありますので、予めご了承ください。）

REPORT

シンガポールレポート



柴田 真理氏

シンガポールは日本ブーム！

今年7月21日、オーチャードロードにオープンした「アイオン・オーチャード」。地上4階、地下4階の計8階に355店舗が入居する超大型ショッピングモールで、連日大勢の買い物客と食事客が訪れ、大盛況となっています。地上4階はブランドショップがメインで、地下4階は飲食店、小売店となっています。何かと話題に上るので、早速私もショッピングに出かけると、地下で長蛇の列を発見しました。先頭まで見に行くと、日本のたこ焼き屋「銀だこ」、その横に日本でも流行っている白いたい焼き屋さん、だんご屋さん……ここは日本か？？と思うほど日本の店が並んでいます。レストラン街に行くと、居酒屋「和民」「旭

川ラーメン青葉」等、どの店をのぞいても日本人よりも現地の中国系の人がたくさんいます。今、シンガポールでは日本が大ブームなのです！ 値段も現地の物と比べるとかなり割高なのに、この混みようは新し物好きもありますが、やはりここは好景気なのかもしれません。

さて、私の目的はシンガポールに初上陸した「ユニクロ」です。ここは常夏の国、毎日汗をかくので洗濯機でジャブジャブ洗える洋服が本当に重宝します。そして何より日本のサイズなので安心して買い物ができます。値段は日本よりも10%ぐらい高値ですが、休日は入店制限するほど人気となっています。「アイオン・オーチャード」は日本のブランド以外にも海外の有名ブランドが数多く入っており、見ごたえは十分です。

シンガポールは観光に力を入れており、来年にはユニバーサル・スタジオやカジノも出来る予定で日本からの観光客も増えることは確実ですが、シンガポールの食事に慣れない人、飽きた時、もしもの時などこれだけ日本の店があると安心だと思います。



アイオン・オーチャード

蘭州レポート

八戸市産業政策課(八戸港国際物流拠点化推進協議会事務局) 主事 坂本晃則

今年度、八戸市の友好都市である中国甘粛省蘭州市との国際交流事業として、甘粛省が実施している国際交流員研修プログラムに3ヶ月間参加することとなりました。現在、蘭州大学で研修しており、現地、蘭州市の様子をレポートいたします。

蘭州市は、人口約320万人の大都市で、漢、回、チベット等38の民族が暮らしています。繁華街が広く、東北地方と比較するなら仙台市以上の賑わいがあります。蘭州では今、高層ビルの建設ラッシュで、大学周辺だけでも建築中のビルが何棟かあります。市内を走っている車は中国国内のものだけでなく、トヨタ、ホンダといった日本車のほか欧州車が多数走っています。蘭州大学は繁華街に隣接しているため、大学周辺には甘粛華潤万家生活超市（スーパーマーケット）や中国銀行があります。超市では、食料品、日用雑貨、衣類だけでなく電化製品等も扱っており、特に食料品は品揃えが多くなっています。

蘭州市内には屋外、屋内の市場が複数あり、私が先日見学してきた屋内市場は、5階建てくらいの日本のデパートのような建物で、各フロアにぎっしりとテナントが入居していました。

日用品の他、香辛料、お茶、乾燥生姜、干しいたけ、乾燥昆布、氷砂糖、化学調味料等が山盛りで陳列されており、香辛料に関しては、高さ1m、直径40cm程度の容器から量り売りされていました。蘭州の料理は、唐辛子を中心とした香辛料を利かせたものが多く、これらの商品は、こちらの料理に不可欠なものだと思います。地元の方にお聞きしたところ、周辺地域から蘭州市の市場に商人が買い付けに訪れているということです。

3ヶ月間の研修期間中、蘭州市のことを少しでも多く学び、また、中国の皆さんに八戸のことも紹介していきたいと思います。



蘭州大学の研修生(右から4人目が筆者)

八戸港の貿易概況報告(平成21年1月～8月)

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター 3階
 日本貿易振興機構 (JETRO) 八戸情報デスク TEL:0178-72-1850 FAX:0178-72-1503

<概況>

輸出額においては、原材料の単価下落や為替変動の影響により全般的に減少(前年比76.4%)。輸入額においても、一般機械・木材・こうりゃん等の増加もみられたが、全体的に著減(前年比55.8%)。輸出主要国は、香港・中国・オランダ、輸入主要国は韓国・チリなどが挙げられる。また、コンテナ貨物通関本数は、中国・韓国航路を中心に、輸出が増加するも、輸入の減少により横這い(99.5%)。

■平成21年1月～8月の貿易額(単位：千円)

※資料：八戸税関支署発表の貿易統計
 (八戸港・むつ小川原港・久慈港)から抜粋

輸 出

品名	単位	今年累計		対前年比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船 舶	NO	8	23,896,390	100.0%	99.9%
フェロニッケル	MT	106,448	20,779,327	142.3%	54.3%
有機化学品	KG	611,600	199,570	48.3%	45.8%
紙 製 品	MT	839	75,405	42.3%	44.2%
一 般 機 械			25,606,921		94.5%
鉄 鋼 製 品	MT	226	63,855	0.7%	2.5%
飼 料	MT	288	19,440	17.1%	20.3%
魚 介 類	MT	8,568	922,884	112.0%	91.5%
鉄 鋼 く ず	KG	24,512,732	675,100	139.1%	58.6%
電 気 機 器			244,390		94.9%
そ の 他	-		1,415,163		85.3%
合 計	-		73,898,445		76.4%

輸 入

品名	単位	今年累計		対前年比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	719,330	9,402,295	134.8%	83.4%
とうもろこし	MT	593,223	13,016,000	102.1%	64.2%
ニッケル鉱	MT	1,227,024	6,377,199	90.1%	37.1%
木 材	CM	21,314	528,767	166.9%	131.6%
亜鉛鉱	MT	80,838	3,238,042	76.0%	38.2%
亜鉛さい	MT	7,702	181,931	65.9%	22.7%
大豆粕	MT	171,578	7,208,597	84.1%	64.2%
魚 介 類	MT	16,464	3,981,942	105.3%	95.2%
飼 料	MT	51,415	1,753,093	75.5%	112.1%
石 炭	MT	371,145	4,295,218	68.3%	58.3%
こうりゃん	MT	158,617	3,057,507	225.4%	122.5%
ウッドパルプ	MT	1,000	45,272	6.7%	3.9%
カオリン	MT	23,155	533,705	40.2%	34.0%
肥 料	MT	5,020	225,527	11.8%	8.8%
コークス等	MT	54,848	1,957,807	75.6%	50.2%
鉛 鉱	MT	30,850	2,874,627	63.1%	34.8%
金 属 製 品	MT	2,405	839,805	72.2%	81.6%
その他穀物	MT	4,643	87,899	590.0%	75.6%
糖 蜜	MT	5,168	87,675	103.8%	118.7%
一 般 機 械			1,030,382		149.5%
そ の 他	-		6,182,778		40.3%
合 計	-		66,906,078		55.8%

●コンテナ貨物通関額 ()内は対前年比

輸出	275億96百万円 (83.1%)
輸入	109億15百万円 (76.9%)
合計	385億11百万円 (52.6%)

●コンテナ貨物通関本数 ()内は対前年比

輸出	6,561TEU (142.8%)
輸入	6,885TEU (77.2%)
合計	13,446TEU (99.5%)

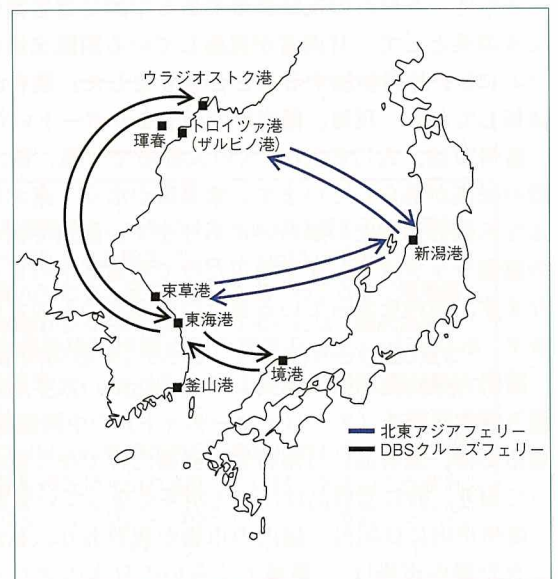
ロシア極東は依然、 日本食品の得意先

日本貿易振興機構 (JETRO)
 青森貿易情報センター
 TEL 017-734-2575
 FAX 017-773-2877
 〒030-0802 青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビル5階

今般の金融危機はロシア極東向けの日本食品輸出を苦境に追いやりました。2008年秋頃からルーブル安が進行し、もともと高価だった日本食品の価格はさらに上昇。多くの住民にとって日本製品は「高価すぎて手の届かない商品」(現地小売・流通業者)となり、消費者離れが進みました。しかし、日本食品の売り込み先として、ロシア極東の中長期的な潜在力が失われたわけではなく、その注目要因のひとつとして、日本海での新規航路開設への期待が挙げられます。

2009年6月末、韓国の東草(ソクチョ)港、新潟港、ロシアのトロイツァ(旧ザルビノ)の間で、日中韓ロ4カ国が参加する定期貨客船「北東アジアフェリー」が就航しました。時を同じくして、鳥取県の堺港と韓国の東海(トンヘ)港、ウラジオストク港との間で定期貨客船航路「DBSクルーズフェリー」が開設されました。

DBSクルーズフェリーの寄港地となっている堺港周辺では、地域産品の販路開拓を狙った動きが活発になっています。また、北東アジアフェリーはトロイツァ港経由で日本から中国東北部の巨大市場への輸送が容易になるという点から、特に生鮮品をはじめとする食品輸出にかかるリスク軽減につながるものと注目されています。



DBSクルーズフェリーと北東アジアフェリーの航路

八戸港の物流を支える人々

～国土交通省東北運輸局
青森運輸支局 八戸海事事務所～



八戸海事事務所は、国土交通省の地方機関であり、青森県には、青森市に置かれている青森運輸支局と管轄を分担して、船舶、船員、造船など海事に関する幅広い業務を行っています。職員は9名で、管轄区域は下北半島尻屋岬から岩手県久慈市と野田村までとなっています。

○外国船舶の監督

日本にはたくさんの外国船舶が入港しますが、これらの船舶は、国際的な安全基準である「SOLAS（ソーラス）条約」（海上の人命安全条約）などの様々な国際条約を守ることが義務づけられています。船舶を基準に適合させる責任は、旗国（船舶が登録されている国）にあります。現実には旗国による船舶の安全性のコントロール（検査態勢）が不十分なために、日本の周辺で座礁事故や油流出等の重大な海難を引き起こすことがあります。そのため、外国船舶監督官が外国船舶に立入検査を行い、国際条約で定められた船舶の構造、設備基準やエンジンのコンディション、船長等の資格要件などについて確認（検査）を行うことにより、日本周辺を航行する外国船舶の安全及び海洋環境を保護する役割を担っています。

この立入検査を「Port State Control」（ポート・ステート・コントロール）と言います。

○船舶検査

船舶は、一度に大量の旅客や貨物を運べるという利便性がある一方で、海上にあることから、台風や低気圧などに遭遇した場合には陸上からの支援を得ることが困難なことも予想されるため、たとえ過酷な気象条件に遭遇しても人命の安全を確保するための施設を設備する必要があります。日本船舶は、船体の強度、エンジンや救命・消防設備などに関する基準（船舶安全法）や、油や廃棄物等による海洋汚染を防ぐための法律（海洋汚染防止法）によって、定期的に検査を受けることが義務づけられており、この検査は、船舶検査官が担当しています。また、船

会社の安全管理体制や保安体制のチェックも行っています。

○船舶測度

船舶の「総トン数」は、“重さ”ではなく“大きさ（容積）”を表す指標で、港湾施設の使用料などに使用されている重要な指標です。一般的な重さの単位として使用する「トン」とは違うものです。船舶の長さや幅などを計測して、総トン数（容積）を算出することを「測度」と言い、船舶測度官が担当しています。

○運航労務監理

旅客船、フェリーなどの安全運航の確保、船員の労働条件・環境保護や労働災害の防止を図るため、運航労務監理官が船舶や船会社への立入監査等を行っています。

○旅客船、内航船、港湾運送、倉庫、造船

旅客船・フェリーなどの旅客船事業者、国内各港間において荷物の運搬を行う内航船事業者、貨物船への荷物の積卸しを行う港湾運送事業者、荷物の保管を行う営業倉庫事業者などの物流サービスの推進を図るための指導監督・各種登録・届出等の受理業務を行っています。また、造船事業者の造船に関する各種手続きの受理業務も行っています。

○船舶の登録

日本船舶の総トン数、船籍港、所有者等に関する登録業務を行っています。船舶に備置が必要な「船舶国籍証書」の交付業務も行っています。

（財産としての登記は、法務局で行われています。）

○船員窓口、船員職業安定

船員手帳の交付、船員の雇用に関する各種届出の受理、海技免状の更新手続等を行っています。海のハローワークとして求人・求職者に全国の求人・求職情報を検索機器（タッチパネル）等により提供しています。また、船員離職者への職業紹介や失業保険の支給業務なども行っています。



船舶検査官によるエンジン検査



外国船舶監督官による救命艇検査の様子

お問い合わせ先
国土交通省東北運輸局青森運輸支局
八戸海事事務所
八戸市築港街 2-16 八戸港湾合同庁舎 2 階
TEL:0178-33-0718

コンテナ航路		船社名	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運	1便/週	[寄港地] 台湾(高雄、基隆、台中)、中国(香港、上海) [接続地] 東南アジア全域、中国、豪州、欧州、南米、アフリカ、他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山、光陽)、中国(大連、青島、上海、寧波) [接続地] 中国、ベトナム、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/月	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)、釜山
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地
		井本商運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 東京、横浜 [接続地] 世界各地
		鈴与海運(株)	八戸港湾運送	1便/週	[寄港地] 横浜、名古屋 [接続地] 世界各地

PIL: Pacific International Lines (Singapore) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	3	4
光陽(韓国)	4	5
蔚山(韓国)	5	8
基隆(台湾)	5	7
台中(台湾)	7	14
高雄(台湾)	8	6
香港(中国)	9	11
大連(中国)	6	8
青島(中国)	7	7
上海(中国)	7	7
天津新港(中国)	8	9
寧波(中国)	6	8
蛇口(中国)	11	13
シンガポール	19	16
ジャカルタ(インドネシア)	27	21
バンコク(タイ)	22	23
レムチャパン(タイ)	23	21
マニラ(フィリピン)	27	24
ホーチミン(ベトナム)	26	20
ハイフォン(ベトナム)	10	12
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	31	21
オークランド(ニュージーランド)	40	28
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ハンブルグ(ドイツ)	43	44
ロッテルダム(オランダ)	41	42



八戸港管理所では、現在下記の緑地工事を実施又は計画しています。

- ①緑地(八太郎): 八太郎地区フェリーふ頭の基部に整備中の緑地です。通常の緑地としての利用の外、大規模地震発生時には被災者の安全確保や緊急物資の一時保管等多目的な利用を考慮しているため、緑地全体をほぼ平坦に計画しています。現在、今年度末を目処にトイレ、駐車場等を整備中であり、来年4月から供用開始する予定です。八太郎公園と命名しました。
- ②緑地(2号ふ頭): 馬淵川右岸河口部に整備中の緑地です。市民が日常的に利用でき、かつ海へのふれあいの場となるよう水際の通路や多目的広場を整備しています。緑地中央部を周囲より高くして眺望を確保するとともに、緊急時の避難場所としての利用を考慮しています。平成22年度完成予定です。
- ③緑地(河原木): 第一工業港奥部の大型商業施設前面に整備予定の緑地です。八戸港を交流拠点として更なる賑わい創出のため緑地を整備し、みなとの活性化を図るものです。今年度に事業着手して平成25年度の完成を目指します。すでに供用開始している沼館緑地公園と近く、一体的な利用が見込まれます。

青森県三八地域県民局地域整備部八戸港管理所
TEL:0178-28-2105 FAX:0178-20-4746

編集後記

今年の東北地方は、2003年以来6年ぶりに梅雨明けの特定ができませんでした。

梅雨明けが特定できないくらいなので、八戸では寝苦しい夜というのは少ないのですが、今年寝苦しかったのは一晩か二晩というところでしょうか。私の家では扇風機すら出番がありませんでした。そんな八戸から関東以南への出張は、毎回その暑さを思っただけでゲンナリするのですが、今年も7月の暑い盛りにも名古屋と東京で八戸セミナーを開催しました。今回は、懇親会の会場でせんべい汁などをふるまい、好評でした。

せんべい汁は、9月に行われたB-1グランプリで3年連続2位になりました。地元民としては、そろそろ1位になって欲しいと思うのですが、全国各地の個性的なB級グルメはさすがに手強く、主役にはなりにくい汁物で健闘しているということで、納得しましょうか。これからせんべい汁のおいしい季節です。皆さんも機会があったら召し上がってくださいね。

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

八戸通運株式会社(海運営業所)	TEL: 0178-29-0202	FAX: 0178-20-3281
八戸港湾運送株式会社	TEL: 0178-29-3177	FAX: 0178-29-3119
新丸港運株式会社	TEL: 0178-20-2321	FAX: 0178-20-2353
八戸運輸倉庫株式会社	TEL: 0178-28-2401	FAX: 0178-28-6976
三八五流通株式会社(八戸区域事業所)	TEL: 0178-52-7755	FAX: 0178-52-7751
日本通運株式会社八戸支店	TEL: 0178-27-3311	FAX: 0178-27-5520
ナラサキスタックス株式会社八戸支店	TEL: 0178-20-1651	FAX: 0178-20-2444

株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫
青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市産業振興部産業政策課内
TEL:0178-43-9244 FAX:0178-46-5600 e-mail: hppc@hi-net.ne.jp www.hi-net.ne.jp/~hppc

(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp www.hptc.co.jp